

4-1-6-7 泌尿器科

1. 概要

1.1 施設認定

泌尿器科学会認定施設責任者 上岡克彦

泌尿器科学会指導医 上岡克彦 泌尿器科学会専門医 青木勝也

尿道下裂手術 施設基準適合

2. 診療活動

平成 16 年 7 月 1 日から鈴木登士彦医師が研修医として診療に参加した。

平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 3 月 31 日までに行われた手術は 348 件、前年度より 23%増加した。

手術数は順調に増加してきており、昨年度に認められた手術内容の変化も引き続き進行している。尿路系手術は尿道狭窄に対する手術を筆頭として増加が認められている。尿路再建術も増加してきており年間 8 例となった。尿路系手術においても、他医が施行した後のやり直し手術など最終病院として要求される役割が増大した年であった。

性器系の手術は前年度と比較して大きな傾向の変化はみられないが精巣捻転症例が 3 倍に増加して救急外来からのコンサルトの増加を反映していると考えられる。

以下に主な手術症例数を掲げておく。

性器系手術

精巣固定術	77 例
尿道下裂修復術	69 例
精巣捻転	9 例
陰茎形成術（翼状陰茎）	8 例
女性化外陰部形成術	5 例

尿路系

尿道狭窄	55 例
VUR	14 例
水腎症	10 例
巨大尿管	3 例
腎摘出術	3 例
尿管尿管吻合	3 例
禁制導尿管	4 例
禁制尿路変更	3 例
膀胱拡大術	5 例
新生児後部尿道弁切開	1 例